



保育科 特任准教授

松井 佳子 (まつい けいこ)

Matsui Keiko

自己紹介 (プロフィール)	大学、大学院時代にオーストラリアに留学して以来、オーストラリアについて研究してきました。特に、毎年多くの移民、難民を受け入れるオーストラリア社会の多文化共生の問題と、民族、政治制度、文化などの異なるアジア諸国とオーストラリアとの地域協力の可能性など、様々な文化的背景を持つ人々の共生、協力の可能性に関心を持って研究を進めています。
学生へのメッセージ	振り返ってみると、研究分野との出会い、信頼できる友人との出会いなど、現在の自分に大きな影響を与えている素晴らしい出会いが大学時代にありました。山梨学院短期大学での学びや出会いが、皆さんの人生の糧になることを心から願っています。
保有学位	修士 (法学) 慶應義塾大学大学院
保有資格・免許	
研究分野	アジア太平洋地域の国際関係、オーストラリア地域研究
主な担当科目	国際政治と子どもたち 社会科概論 (専)
学内での活動	
学外での活動	
所属学会	日本国際政治学会 日本オーストラリア学会

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 （単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
『多文化交差世界の市民意識と政治秩序形成』関根・塩原編（共）	2008年	慶應義塾大学出版会	第一章「オーストラリアの『アジア太平洋国家化』言説と多文化主義」を担当し、「アジア太平洋国家化」言説という観点から、オーストラリアの多文化主義について論じた。
（平成19年度防衛省委託研究）豪州の安全保障戦略と日豪防衛協力（共）	2008年	財団法人平和・安全保障研究所	防衛省委託研究により、オーストラリアの安全保障戦略と日豪防衛協力に関する共同研究の成果である。オーストラリアの対東南アジア戦略（68-83）部分を担当した。
「多文化社会における社会統合に関する一考察：オーストラリアのシティズンシップ・テスト導入について」（単）	2009年	山梨学院短期大学紀要、29号	本論文では、多様な文化的背景を持つ人々によって構成されている移民国家オーストラリアにおいて、国家がどのようにして社会統合を図ろうとしているのかという問題に関して考察した。
オーストラリアの多文化主義から見えるもの（単）	2012年	『国際比較政治研究』大東文化大学国際比較政治研究所、第21号	本論文は、『多文化主義の展開と日本への影響』というシンポジウムにおけるパネル報告を元にした論文である。多文化社会化が進む日本の状況を踏まえ、オーストラリアの多文化主義政策の経験から見えてくる課題について考察した。